

## 教科シラバス（工業：情報電子科）

科目名	実 習		履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
			3	4	必修	一 斉
使用教科書・副教材・準備物						
各種教科書・筆記用具・ノート・プリントなど						
科目の概要				学習目標		
測定・製作・実験等を通して、関連する知識・技術を習得するとともに、工業に関する広い視野を養い、意欲的な態度を育てるよう構成されている。				工業の各分野における技術への興味・関心を高め、工業に関する視野を養い、意欲的な態度を身に付ける。また、レポート提出や実習の経験により進路実現を行う。		
年間学習プログラム						
	学習内容			学習のねらい		
1 学期	1 ① CAD実習①[Shade 3D 基本操作] ② C言語プログラミング ① ③ プログラマブルコントローラ実習 ① ④ マイコン制御実習① ⑤ ダイオードの静特性 ⑥ 製作実習①			・製作、制作、計測、実験等から、新しい技術や知識を体験する。  ・続きの実習があるため、前回の実習の復習を行い、知識・技術の定着を図る。  ・幅広い分野の実習を体験し、多くの経験をつむことで、進路選択に役立てることが出来るようにする。  ・総合実習において、プレゼンの資料作り発表体験を行い、プレゼンテーション能力を身に付ける。		
2 学期	2 ⑦ CAD実習②[Shade 3D 応用操作] ⑧ C言語プログラミング ② ⑨ プログラマブルコントローラ実習 ② ⑩ マイコン制御実習② ⑪ トランジスタの静特性 ⑫ 製作実習② ⑬ コンピュータ総合実習① ⑭ コンピュータ総合実習②					
3 学期	3 ⑮ CAD実習③[Shade 3D 作品制作] ⑯ C言語プログラミング ③ ⑰ プログラマブルコントローラ実習 ③ ⑱ マイコン制御実習③ ⑲ 電子情報技術実習① ⑳ 製作実習③					
評価の観点及び内容						
関心・意欲 ・態度	電子・情報に関する基礎的・基本的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身に付けている。			技能・表現	各種実習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、安全や環境に配慮し実際の仕事を合理的に計画・処理するとともに、その成果を適切に表現することができる。	
思考・判断	各種実習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、諸問題の解決を目指した、自ら考え、知識と技術を活用し、創意工夫する能力を身に付けている。			知識・理解	実験・実習に関する基礎的な知識を身に付け、産業社会や生活環境における情報技術の意義や役割を理解している。	
評価方法及びその他留意事項						
学習態度、技術の習得度、製品の完成度、レポートの提出等を含め上記4つの観点から総合的に評価し点数を付ける。なお、レポートおよび作品の提出ができていないことを基本とする。						